

ルワンダ（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在ルワンダ日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境

1. 2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2. 日本語教育の実施状況

全体的状況

日本語教育の実施は確認されていない。

3. 教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

6-3-3-4制。

初等教育が6年間、前期中等教育が3年間、後期中等教育が3年間、大学などは4年間。義務教育期間は9年間。但し、その後、更に3年間の後期教育を続けるか、6ヶ月から3年までの職業訓練校に行くかは選択次第。

教育行政

教育省所管。

言語事情

公用語はキニャルワンダ語、英語及びフランス語。キニャルワンダ語が主流言語。英語は 2009 年に公用語となり、首都キガリ市を中心にビジネス言語として相当程度浸透。有識者や 40 歳以上の人口はフランス語も解する、ないしは英語よりもフランス語でのコミュニケーションを好む者もいる。ただし、義務教育を受けていない層はキニャルワンダ語しか解さない。ルワンダ人同士はキニャルワンダ語を話す。

外国語教育

英語及びフランス語は義務教育期間の 9 年間、必修である。

外国語の中での日本語の人気

日本語教育の実施は確認されていない。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

学校教育以外

首都キガリ市及び南部ニャンザ市にある日本の支援で建設された小学校には日本から贈られた絵本や教科書がある。また、キガリ市や南西部フイエ市のルワンダ大学キャンパスには、Read For Japan プロジェクトにて寄贈された日本に関する英語の図書が収蔵されている。

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

E メール：kunibetsu@jpf.go.jp

(メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください)